

しんがらわらわら 浜崎マップ

浜崎重要伝統的建造物群保存地区

萩・浜崎

萩城下の港町として栄えてきた、浜崎。日本海に面することから、物資の流通や販売、水産業などに携わる人々でにぎわい、古くから萩の経済を支えてきました。現在もその町並みは健在で、平成十三年十一月には、全国で六十番目の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。



この辺りから南西のエリアは土地が高く、寺町と呼ばれ、江戸初期から続く古い寺院や墓地が並んでいます。



古い建物がいっぱいの浜崎

浜崎伝建地区内には、伝統的建造物として指定された建築物が138棟あり、そのうち、江戸の建物が約40棟、明治の建物が約48棟、大正・昭和の建物が約50棟もあるのです。今も住まわれている家が多いですが、年に1度の「浜崎伝建おたから博物館」では、通りに面した町家を見せてもらえる家がたくさんあります。

港の商家町おすすめコース

徒歩：約1時間
ガイド付：約2時間



梅屋七兵衛旧宅

幕末に活躍した豪商 梅屋七兵衛の晩年の旧宅。七兵衛は藩の武器を買い入れる命を受け、上海から命がけでイギリスの鉄砲千丁を持ち帰り、幕府との戦いに貢献しました。明治14年頃に建てたこの家で茶道などに親しみ、穏やかな晩年を過ごしました。現在は「梅ちゃんち」の愛称で、萩市への移住希望者向けお試し暮らし住宅として利用されています。

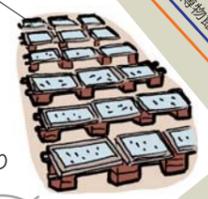


幕末の科学者

萩のお土産「萩ガラス」そして、食べるとビックリ!? 「幕末パン」をつくったという科学者 中島治平の旧宅地です。萩でのコレラ流行を防ぎ、製鉄場の建設にかかりました。写真術や染色など化学に詳しく、萩城内で初めて蒸気機関車の模型を運転した人物です。

浜の香り

路地の奥へ行くと…ククン 浜の香りがする! 町並みを一歩裏手に入ると、地場産業である海産物の加工場があって、いりこ、ちりめんが干してあり、浜の香りが漂います。



ちりめんが干してあると潮のいい香り

大きないりこが干してある場合もあります!



住吉神社の横から菊ヶ浜を見てください!! ポコッと山が見えませんか? そうです! 萩城跡のある指月山が見えるのです。

あの山は…もしかして?

美しい夕焼けを眺められます! 地元の人がいともきれいに清掃しています。

干し場は、浜崎らしい風景のひとつです!

迷路!?

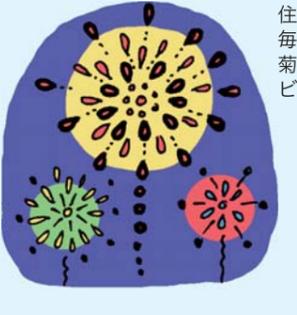
裏道!?! 迷路に入り込んだような狭い路地。他にもあるよ。

丸型赤ポスト

気分は昭和にタイムスリップ。今も使われているポストです。ぜひ旅の思い出をハガキに書いて、出してみたいませんか?

萩・日本海大花火大会

萩の夏の風物詩、花火大会。住吉祭りに合わせ、毎年8月1日に盛大に行われます。菊ヶ浜は大きな花火が真上に見えるビュー・ポイントなんです!



離島航路

この先→日本海には7つの島があります。浜崎とこれら7島は江戸時代、御船倉に代官所を置く浜崎宰判の支配下にありました。萩商港からは3島に定期船が出ています。

- ◎大島航路→25分
- ◎見島航路→75~105分
- ◎相島航路→40分



浜崎の卸売市場

春と秋の平日(主に午前中)にはシラスの競りが行われています。競り落とされたシラスは、すぐに加工場に運ばれ釜揚げ・浜干しに。



競りの風景が見られたらラッキー!ただし、海が荒れたり、魚が少ないと競りはないのでご注意ください。おおよそのやす春 3月後半 7月末秋 9月中旬 12月中旬

つながってるの?



平入の古い町家が連続して残っていて、いくつ家が続いているの!? 数えてみよう!! きれいにそった底が見られるよ。江戸から明治にかけて、魚問屋と廻船問屋を営んでいました。

鶴江の渡し

対岸の鶴江に船で行けます! 藩政時代、川内に入るには、2本の橋しかなかったのが、渡し船が活躍していました。なんと! 今でも現役の手漕ぎの渡し船なんです。お昼後は休みのになるので、時刻表を要チェック!



乗船希望の方は手をふいて合図をしてください!

50m

- Start 浜崎町並み交流施設(旧山中家住宅) 1 旧萩藩御船倉 2 旧小池家土蔵 3 中村家 4 柏村家 5 廣家 6 藤井家 7 芥藤家 8 池部家 9 中村船具店 10 旧山村家住宅 11 旧山中家住宅 12 須子家 13 住吉神社 14 中島治平旧宅地 15 田中家 16 梅屋七兵衛旧宅 17 林家 18 大嶋家 19 泉福寺 20 藤山家 21 吹上通り 1 旧萩藩御船倉 Goal

凡例			
	トイレ		バス停
	インフォメーション		海産物屋
	駐車場		味噌屋
	郵便局		味噌屋
	銀行		味噌屋
	食事処		味噌屋
	カフェ		味噌屋
	宿		味噌屋
	見どころスポット		味噌屋
	裏面解説ポイント		味噌屋
	伝建地区の範囲		味噌屋

イラスト：田淵満彰 原案：九州大学芸術工学府都市環境設計研究室(村上佳代)